

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）



平成16年7月27日

上場会社名 **株式会社 極 洋** (コード番号：1301 東証第1部)
 (URL <http://www.kyokuyo.co.jp>)
 代表者 役職・氏名 代表取締役社長 福井 清計
 問合せ先責任者 役職・氏名 企画部長 石井 康広 TEL (03)5545-0703

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 ・連結 (除外) 1社

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年3月期第1四半期	37,154	2.4	1,181	32.8	1,156	35.6	659	27.3
平成16年3月期第1四半期	38,063	-	889	-	853	-	518	-
(参考) 平成16年3月期	151,534		3,144		2,895		1,248	

	1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
平成17年3月期第1四半期	6	20	6	10
平成16年3月期第1四半期	4	69	4	62
(参考) 平成16年3月期	11	17	10	99

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出や設備投資の増加、雇用情勢の改善など、景気回復が続きましたが、水産・食品業界においては、企業間の競争の激化など引き続き厳しい状況にありました。

水産商事事業におきましては、南北凍魚、たこなどの搬入量の減少や市況低迷により、売上は減少しましたが、海外加工品の取扱の増加などによりほぼ予想通りの利益を確保しました。

加工食品事業におきましては、鰹・鮪加工品、寿司商材などの水産加工品、畜肉などの調理品及び魚介缶を主力とした常温食品など概ね順調に推移しました。

漁撈事業は、漁場のばらつきはあるものの漁獲、魚価ともに上向いてきており、売上、利益ともに回復してきました。

物流サービス事業及びその他の部門については概ね予想通りであります。

以上の結果、売上高371億5千4百万円(前年同期比2.4%減)、経常利益11億5千6百万円(前年同期比35.6%増)、第1四半期純利益は6億5千9百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

(2) 財政状態(連結)の進捗状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成17年3月期第1四半期	60,988	13,909	22.8	130	65
平成16年3月期第1四半期	58,764	12,237	20.8	110	93
(参考)平成16年3月期	58,562	13,638	23.3	127	83

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における財政状態の変動状況は以下のとおりです。

資産合計は609億8千8百万円(前連結会計年度末比24億2千6百万円増)となりました。主な要因は北洋魚やカニの搬入時期が重なったことなどによるたな卸資産の増加です。

負債合計は470億5千4百万円(前連結会計年度末比22億5千9百万円増)となりました。主な要因は買掛金及び短期借入金の増加です。

資本合計は139億9百万円(前連結会計年度末比2億7千1百万円増)となりました。主な要因は利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加です。

この結果、株主資本比率は22.8%(前連結会計年度末比0.5ポイント低下)、1株当たり株主資本は130.65円(前連結会計年度末比2.82円増加)となりました。

【参考】

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	79,000	1,800	1,000
通期	157,000	3,400	1,800

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 16円62銭

[業績予想に関する定性的情報等]

中間期および通期の業績予想につきましては、第1四半期の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成16年5月14日に発表しました当初の見通しを変更しておりません。

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 当資料に記載している見通しの数値は、当社が現在入手可能な情報から判断したものであり、経済情勢などの動向により変動する場合がありますのでご承知おき下さい。

1.要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期末)	増 減	(参考) 平成16年3月期
【資産の部】				
流動資産				
現金及び預金	3,498	4,964	1,465	3,456
受取手形及び売掛金	16,388	17,581	1,193	16,757
たな卸資産	21,052	19,028	2,023	18,384
その他	1,665	1,782	116	1,424
流動資産合計	42,605	43,356	751	40,024
固定資産				
1.有形固定資産				
建物及び構築物	2,377	2,500	122	2,416
船	3,980	2,446	1,534	4,160
土地	3,234	3,331	96	3,234
その他	819	887	67	826
有形固定資産合計	10,413	9,164	1,249	10,639
2.無形固定資産	248	209	39	244
3.投資その他の資産				
投資有価証券	6,438	3,823	2,614	6,258
その他	1,282	2,210	927	1,395
投資その他の資産合計	7,720	6,034	1,686	7,654
固定資産合計	18,383	15,407	2,975	18,538
資産合計	60,988	58,764	2,223	58,562
【負債の部】				
流動負債				
支払手形及び買掛金	8,692	8,736	43	6,991
短期借入金	26,944	27,460	516	25,448
その他	4,857	4,733	124	5,317
流動負債合計	40,494	40,930	435	37,758
固定負債				
長期借入金	2,304	2,894	589	2,446
退職給付引当金	1,367	1,843	475	1,435
長期未払金	2,437	390	2,047	2,554
その他	427	315	111	575
連結調整勘定	22	32	9	24
固定負債合計	6,559	5,476	1,083	7,037
負債合計	47,054	46,406	648	44,795
【少数株主持分】				
少数株主持分	24	120	96	129
【資本の部】				
資本金	5,664	5,664		5,664
資本剰余金	742	742	0	742
利益剰余金	6,545	6,303	242	6,378
その他有価証券評価差額金	1,421	92	1,513	1,318
為替換算調整勘定	2	6	9	1
自己株式	462	387	75	464
資本合計	13,909	12,237	1,672	13,638
負債、少数株主持分及び資本合計	60,988	58,764	2,223	58,562

2. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減	(参考) 平成16年3月期
売上高	37,154	38,063	908	151,534
売上原価	32,521	33,815	1,293	134,889
売上総利益	4,632	4,247	385	16,644
販売費及び一般管理費	3,451	3,358	93	13,499
営業利益	1,181	889	292	3,144
営業外収益	(98)	(87)	(10)	(286)
受取利息	7	8	0	26
受取配当金	48	36	11	41
外国為替差益	11	3	7	61
その他の営業外収益	30	39	8	156
営業外費用	(122)	(123)	(0)	(535)
支払利息	117	114	2	504
その他の営業外費用	5	9	3	31
経常利益	1,156	853	303	2,895
特別利益	10	172	162	183
特別損失	14	46	31	745
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,152	979	172	2,334
法人税、住民税及び事業税	182	325	142	1,302
法人税等調整額	309	126	182	234
少数株主利益	0	9	9	18
四半期(当期)純利益	659	518	141	1,248